

新型コロナウイルスワクチンに関する意思決定ガイド

特に若年者（12歳から18歳）のワクチン接種者を対象とする

EBSCO社 クリニカルデザインズを一部改変

	ワクチン接種無し	Pfizer/モデルナ接種
接種後	ソーシャルディスタンスの維持、集団行動の回避、マスク着用、頻回の手指衛生実施。	4週間以上明けて2回目の予防接種を行う。
利点	ワクチンによる副作用がない。	2回目の接種の2週間後からはコロナに感染するリスクが著明に減少する。 十分な人数が接種された後はパンデミックを終焉させる可能性が高い。
短期的な副作用 あるいは被害	<p>新型コロナウイルスの感染リスクが高い。</p> <p>新型コロナウイルス感染の症状は、易疲労感、発熱や寒気、体の痛み、息切れや咳、味覚や嗅覚の障害など。</p> <p>新型コロナウイルスの感染は入院や死に至る重篤な病気につながる。</p> <p>死亡率は0.08%（460万人中403名）、肥満、喘息、発達障害がリスク因子。</p> <p>米国で若いアスリートを対象とする調査では新型コロナウイルス感染者のうち2.3%に心筋炎の合併が認められておりワクチン接種による心筋炎の合併よりも高頻度（ワクチンの6倍）。</p>	<p>一般的な副作用は接種後3日以内に生じる。</p> <p>症状は疲労感、発熱や寒気、体の痛み、頭痛、注射部位の痛み。</p> <p>これらの症状は2回目の接種後の方が出やすく、ワクチンによる通常の反応であり、2-3日で軽快する。</p> <p>重篤な副作用は極めてまれである。日本ではアナフィラキシーでも死者は出ていない。</p> <p>若年者、特に16-19歳の男子においては2回目の接種後に心筋炎・心膜炎を発症することがある（イスラエルでは0.006%）が、ほとんど軽症で回復している。</p> <p>長期予後は不明。</p>
長期的な副作用	新型コロナウイルスの症状の後遺症（脱毛、嗅覚障害、意識や記憶の障害などの持続）。	長期的な副作用の報告はない。 しかし接種6週後以降の副作用や被害はまれ。
他に知っておくべきこと	今はワクチンを接種したくなくても、受けなくなったら、あとで受けられる。	ワクチンが新型コロナウイルスに感染させることはない。 自身のDNAを変化させることはない 新型コロナウイルスに感染した人においてもワクチンは再感染リスクを減少させる。

上記の比較表を読んで内容を理解しました。その理解に基づきファイザー社/モデルナ社の
コロナワクチンの接種を希望いたします。

接種年月日 令和 年 月 日

被接種者（接種を受ける本人）氏名 _____

（16歳未満の方）保護者（自署）氏名 _____